国語
TYPE Ⅱ
B3ー

「新聞記事のリードや本文の書き方の特徴を考えよう」

～文章の構成や展開，表現の特徴を捉える～

新聞記事について，見出しなどに書かれている情報を正しく捉えたり，本文の書き方の特徴を理解したりすることに課題が見られました。そこで，本アイディアでは，実際の新聞を教材として，リードと本文との関係について考える学習を提案します。リードに書かれていることが本文でどのように表現されているかに着目して読むことで，新聞記事の文章の構成や表現の特徴を捉えることを狙いとします。

課題の見られた問題の概要と結果

… B3　資料を参考に，漢字について考える

B3ー　正答率 61.6%

新聞記事の書き方の特徴を説明したものとして適切なものを選択する。

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕C　読むこと　エ

授業アイディア例

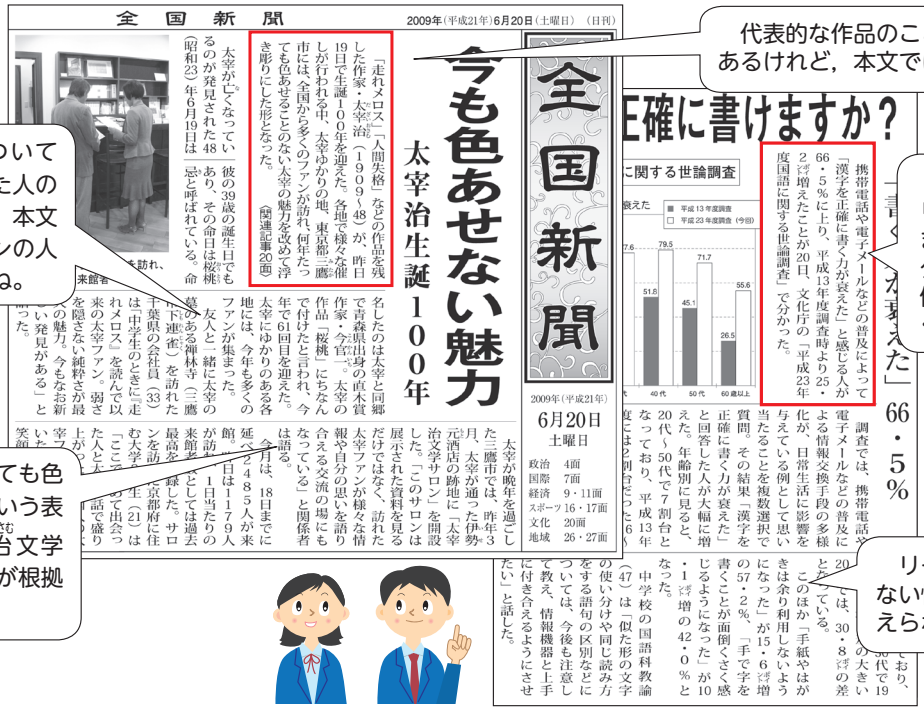
❶ 新聞記事のリードについて，小学校での学習を想起し，確認する。

・記事の中心的な事柄が書かれている。　・５Ｗ１Ｈの要素を含んでいることが多い。
・本文を要約している。　・リードがない記事もある。　など

❷ 実際の新聞を読み，リードと本文との関係から新聞記事の書き方の特徴を話し合う。

教師

リードの内容が本文でどのように書かれているか，書き方の特徴を見付けましょう。



全国新聞　2009年(平成21年)6月20日(土曜日)(日刊)

今も色あせない魅力
太宰治生誕100年

「走れメロス」「人間失格」などの作品を残した作家・太宰治（1909～48）が、昨日19日で生誕100年を迎えた。各地で様々な催しが行われる中、太宰ゆかりの地、東京都三鷹市には、全国から多くのファンが訪れ、何年たっても色あせることのない太宰の魅力を改めて浮き彫りにした形となった。（関連記事20面）

太宰が亡くなっているのが発見された48（昭和23）年6月19日は「忌」と呼ばれている。命日は桜桃忌。彼の39歳の誕生日でもあり、その命日は「桜桃忌」と呼ばれている。命

名したのは太宰と同郷で青森県出身の直木賞作家・今官一。太宰の作品「桜桃」にちなんで付けたと言われ、今年で61回目を迎えた。太宰にゆかりのある各地には、今年も多くのファンが集まった。

友人と一緒に太宰の墓のある禅林寺（三鷹市下連雀）を訪れた千葉県の会社員（33）は「中学生のときに『走れメロス』を読んで以来の太宰ファン。弱さを隠さない純粋さが最の魅力。今もなお新しい発見がある」と笑顔

太宰が晩年を過ごした三鷹市では、昨年3月、太宰が通った伊勢元酒店の跡地に「太宰治文学サロン」を開設した。「このサロンは展示された資料を見るだけではなく、訪れた太宰ファンが様々な情報や自分の思いを語り合える交流の場にもなっている」と関係者は話る。

今月は、18日までに延べ2485人が来館。1日は179人が訪れ、1日当たりの来館者としては過去最高を記録した。サロンを訪む大学生（21）は「ここで出会った人と、大話で盛り上がっ

全国新聞
2009年(平成21年)
6月20日
土曜日
政治　4面
国際　7面
経済　9・11面
スポーツ　16・17面
文化　20面
地域　26・27面

E確に書けますか？

に関する世論調査

携帯電話や電子メールなどの普及によって「漢字を正確に書く力が衰えた」と感じる人が66・5％に上り、平成13年度調査時より25・2ポイント増えたことが20日、文化庁の「平成23年度国語に関する世論調査」で分かった。

調査では、携帯電話や電子メールなどの普及による情報交換手段の多様化が、日常生活に影響を与えている例として思い当たることを複数選択で質問。その結果「漢字を正確に書く力が衰えた」と回答した人が大幅に増えた。年齢別に見ると、20代～50代で7割台となっており、平成13年度とは2割台だった6～

「衰えた」66・5％

中学校の国語科教諭（47）は「似た形の文字の使い分けや同じ読み方をする語句の区別などについては、今後も注意して教え、情報機器と上手に付き合えるようにさせたい」と話した。

代表的な作品のことがリードの始めにあるけれど，本文では書かれていないね。

リードの二文目については，本文で実際に訪れた人の声を取り上げているね。本文を読むと，多くのファンの人の気持ちがよく分かるね。

こちらの記事は，リードで全体のあらましを書き，本文とグラフで具体的な数値を示しながら詳しく書かれているな。

リードの「何年たっても色あせることのない」という表現は，本文の「太宰治文学サロン」の開設の事実が根拠になっているんだね。

リードには書かれていない情報が，本文では加えられているね。

❸ 新聞記事の書き方の特徴についてまとめる。

新聞記事は，リードで記事のあらましを述べ，本文で詳しく内容を記述していることが多いですが，その書き方は，取り上げる内容によっても違ってきます。そういったことに気を付けて新聞を読むと，目的に応じて必要な情報が素早く探せますね。

本授業アイディア例 活用のポイント

- 新聞を用いて，以下のような学習活動をすることも考えられる。
  - ・リードを隠した新聞記事を提示して，見出しや本文を基にリードを書き，実際のリードと自分が書いたものとを読み比べる。
  - ・同じ出来事について書かれた複数の新聞記事の見出しやリードを読み比べ，書き手の意図と表現の効果について話し合う。
- リードがある雑誌の記事を用いて，リードと本文との関係を考えたり，本の裏表紙等にある解説の文章と本文の内容とを比べて，書き方の特徴を話し合ったりする学習も考えられる。

参照▶「平成25年度　報告書　中学校　国語」P.71～P.76，「平成25年度　解説資料　中学校　国語」P.64～P.70